

平成29年度守谷市自治会連絡協議会第4回代議員会

○日 時 平成30年1月29日（月）
午後6時00分～午後7時15分

○開催場所 守谷市役所 大会議室

○出席者 ・自治会連絡協議会代議員及び顧問（代議員14名，顧問1名）
・市民協働推進課職員（3名）

○協議事項

（1）重点事業に関する調査報告について

・今年度の重点事業として提案されている「地区敬老行事助成金交付制度」と「地域の防災・防犯」について，市に対する提言書（要望書）を作成するため，本日，事業に対する要望や改善点・意見等の聴取を行った。

①「地区敬老行事助成金交付制度」について

【主な意見】

- ◆ 市全体の75歳以上の人数は？全体数に対する参加者の割合はどうか？またこの事業に対する市の評価はどのようになっているのか？その点がわからないと評価できないのではないか。
- ◆ 75歳以上の人数は市から教えてもらえたが，対象者についての情報は教えてもらえなかった。
- ◆ 地域ごとでの実施を求めているのであれば，ある程度の情報を提供してほしい。
- ◆ 看護体制の支援も必要である。
- ◆ 実施主体が曖昧である。（実行委員会か？町内会か？）
⇒地域ごとの実情に応じた団体が実施する。
- ◆ 助成額が1人×1,000円では少ない。1.5倍くらい欲しい。
- ◆ 助成額はいくらが妥当か。（増額を要望するに当たり，根拠が必要では？※平均値等）
- ◆ 75歳以上の方を把握するために年齢確認したが，確認を拒む人もいる。
- ◆ 事業の主眼はどこか（世代間交流か，敬老行事か。）。
- ◆ 市の所管はどこがいいのか（市民協働推進課か，介護福祉課か。）。
⇒この事業は介護福祉課が所管する。

- ◆ 保険制度についても支援してほしい。
- ◆ 中止の場合のキャンセル料の対応を拡充してほしい。
- ◆ 情報共有として、他地区の実績事例を知りたい（他団体のイベントを参考にしたい）。
- ◆ お祭り等のイベントと併せて実施することについてはどうなのか（参加者が増えることで予算も増加する）。

⇒地域の実情に応じたイベント内容や、それぞれの工夫で実施する。

- ◆ 総支出（実費）と助成額の差を把握したい。
- ◆ 市は、現予算（人数×1,000円）で実施できる範囲・内容をどう考えているのか（最低限実施しなければならない内容等についての市の考えは。）。

【提言書（案）への特記事項等】

以下の点を提言書（案）に盛り込む。

- 対象者に関する情報提供の拡充を要望する。
- 支援体制の拡充を要望する（看護・医療体制、中止の際のキャンセル料、ボランティア保険等）。
- 助成額の増額を要望する。

なお、案作成後、代議員に配布する際に、以下の点について市の考え等を確認の上、参考資料として併せて配布する。

- 市全体の75歳以上の人数（参加者割合の把握）。
- 事業に対する市の評価。
- 事業に要した費用（実費分）と、助成額の差について。
- 事業実費分に対する一人当たりの平均額。
- 世代間交流を主とするのか、敬老行事を主とするのか、市の考えは。
- 現予算（人数×1,000円）で実施できる範囲・内容の考え方（最低限実施しなければならない内容等についての考え方）。

②「地域の防災・防犯」について

【主な意見】

- ◆ 久保ヶ丘四丁目では、町内会でスプレー消火器を大量に購入し、会員に安価で販売した。
- ◆ 市が音頭をとって、市民に対し消火器等の安価販売をしてはどうか。
- ◆ 町内会に加入していることで防災用品が安価で購入できることは、加入のメリットにもなる。

- ◆ 防災用品への助成制度があると良い。
- ◆ 助成制度は、市民個人での防災用品（消火器等）購入に対する助成と、町内会に対する助成の２種類があると良い。
- ◆ 自治会独自で、自転車に取り付ける「防犯パトロール」の注意喚起板を作成した（市に問い合わせたところ、そのような物品の取り扱いがなかったため。）。
- ◆ 防犯啓発用品の提供（貸出し）があると良い。

【提言書（案）への特記事項等】

以下の点を提言書（案）に盛り込む。

- 防災用品（消火器等）への助成制度の設立（市民個人での防災用品（消火器等）購入に対する助成と、町内会に対する助成の２種類）。
- 防犯啓発用品の貸出し（提供・配布）。

（２）その他

- ・ 次回開催は３月中旬～下旬。
- ・ 本日の意見を踏まえ、事務局で提言書（案）を作成し、代議員に確認してもらう。
- ・ 次回開催時に、提言書を確定させる予定。

【閉会】